



1. 第6回 IFERC 事業委員会の開催

3月10・11日に国際核融合エネルギー研究センター(IFERC)事業の第6回事業委員会が土岐市の核融合科学研究所にて開催された(図1参照)。欧州からは、カール・ラックナー議長を含め委員3名と専門家3名、日本側は中島徳嘉核融合科学研究所教授を含め委員3名と専門家5名、これと荒木事業長および事業チーム1名並びに事務局2名が参加した。今回の事業委員会では、2009年の年次報告を受けて事業の進捗を確認し、4月末に開催されるBA運営委員会への報告に同意した。また、計算機シミュレーションセンターに関連する現状報告や計算機選定のための特別作業グループ(SWG1)の報告を受け、計算機運用のための特別作業グループ(SWG2)の実施要領案についても議論を行ったほか、事業計画の中の貢献分担表の更新についても検討した。さらに、今後ITER遠隔実験等に必要となる外部高速ネットワークの現状確認と検討が行われた。今回は、2010年10月6・7日にバルセロナ(スペイン)、もしくは10月7・8日または19・20日に六ヶ所で開催される予定である。

2. 第6回 IFMIF/EVEDA 事業委員会の開催

3月26・27日に国際核融合材料照射施設工学実証工学設計活動(IFMIF/EVEDA)事業の第6回事業委員会が六ヶ所の国際核融合エネルギー研究センターで開催された(図2)。日本からは、秋場真人議長を含め委員3名と専門家6名、欧州側はオブライアン欧州委員会担当官を含め委員3名と専門家3名、これとギャラン事業長および事業チーム員5名が参加した。今回の事業委員会では、2009年の年次報告を受けて事業の進捗を確認し、BA運営委員会への報告に同意した。特に加速器系の実証試験スケジュー

ルや工学設計報告書への実証試験結果の反映等について議論が成された。またIFMIF実機の要求仕様についての作業グループの報告書をBA運営委員会に提案することが同意された。今回は、10月6・7日に六ヶ所で開催される予定である。

3. 六ヶ所サイトでは各施設が竣工、一部装置の据付開始

六ヶ所サイトで建設中だった計算機・遠隔実験棟、原型炉R&D棟およびIFMIF/EVEDA開発試験棟の各研究施設は、3月11日に竣工検査が終了し、無事完成した。原型炉R&D棟では、既に一部の装置や実験のための設備の据付が開始されている(図3)。今後整備が進むに従って研究開発も本格的に開始される予定である。

(日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門)



図2 IFMIF/EVEDA 事業委員会
(平成22年3月26日、国際核融合エネルギー研究センターにて)

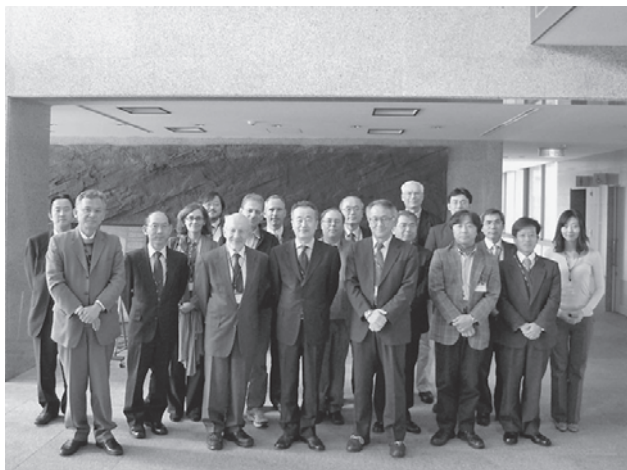


図1 第6回 IFERC 事業委員会
(平成22年3月10日、土岐市核融合科学研究所にて)



図3 原型炉 R&D 棟への実験設備の据付開始
(平成22年3月28日)